

安全・安心なまちセーフコミュニティを目指して⑪

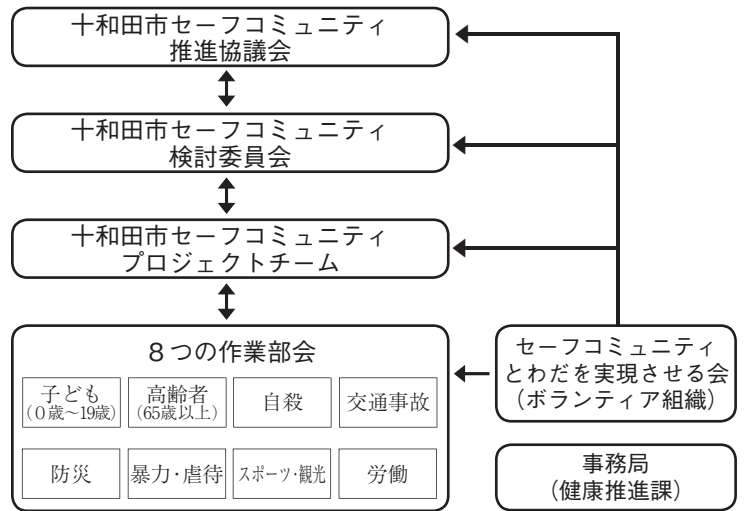
◆セーフコミュニティの仕組みづくり

市では、安全・安心なまちづくりを進め、セーフコミュニティのWHO（世界保健機関）認証を目指しています。

より安全な地域づくりを目指すためには、分野や領域の垣根を越えて、市民と行政が協働で取り組む組織が必要です。

市では右図のような推進体制をつくり、取り組んでいます。これらの組織は、市の事故、けが、暴力、自殺などのデータを基に、生命が危険にさらされないための仕組みづくりなどを行います。今回はセーフコミュニティ推進体制の各組織について紹介します。

十和田市セーフコミュニティ推進体制



各組織の紹介

十和田市セーフコミュニティ推進協議会

市における安全・安心の取り組みに関連する組織（保健、医療、福祉、商工業、教育、防犯、防災、各種団体など）の代表者30人からなり、市長を会長とした部門横断的組織の中核となります。

十和田市セーフコミュニティ検討委員会

市の関係課長および学識経験者などによる計26人で構成され、セーフコミュニティの視点で事業を検討し推進します。

十和田市セーフコミュニティプロジェクトチーム

市の関係課職員10人で構成され、安全・安心に関する事業の課題整理、行動計画案の調整、WHO認証に関する各種資料作成などを担います。

8つの作業部会

一般公募による市民やボランティアのかたを中心とした、市職員などを含めた約80人から構成されます。

「子ども」「高齢者」「自殺」「交通事故」「防災」「暴力・虐待」「スポーツ・観光」「労働」の8つの領域に分かれ、行動計画の素案を作成しています。

セーフコミュニティとわだを実現させる会

多くの市民や関係者・団体と協働で事故、けが、暴力、自殺などの予防に積極的に取り組み、市が安全・安心なまち「セーフコミュニティ」として認証されるよう応援するボランティア組織です。

一般市民、民生委員、医師、薬剤師、介護施設職員、建築士、病院職員、大学職員、県職員、市職員などさまざまなかたが参加しています。（現在も会員募集中）



セーフコミュニティとわだを実現させる会の会員は、店頭でティッシュの配布などを行い、セーフコミュニティ普及活動に努めています。

今後は、作業部会で出された行動計画の素案、事故世帯調査の分析結果および既存データを踏まえ、具体的な行動計画およびWHO認証申請書を作成し、年内の申請を予定しています。

問い合わせ先 市保健センター（☎251181）